

目次

日本情報考古学会第12回大会の金沢開催 にあたって	1
日本情報考古学会第12回大会のご案内と 講演募集	1
学会誌の配布と論文募集	3
日本情報考古学会第11回大会報告	3
電子情報通信学会誌での「情報考古学」の 特集について	4
会報への広告掲載について	4
「会員近況」の掲載について	4

**日本情報考古学会第12回大会
の金沢開催にあたって**

日本情報考古学会第12回大会を金沢で開催することとなりました。考古学、発掘調査などをとりまく社会的環境は大きく変わろうとしています。また考古学ばかりではなく文化財全体についても同様です。金沢は京都・奈良とともに第2次世界大戦の戦火や大きな災害にあうこともなく現在に至っております。金沢で情報考古学の研究成果を発表していただくことは、この地域にとっても非常に有意義なことになります。

会場となる金沢学院大学は、平成12年度より美術文化学部文化財学科を開設しております。地方での開催ということもあり、いろいろご不便をおかけするかとと思いますが、多くの学会員の皆様をはじめ、情報考古学にご関心とご理解をお持ちの皆様方もふって御参加くださいますよう、お願い申し上げます。

金沢学院大学 美術文化学部
文化財学科
清水宣義

**日本情報考古学会第12回大会開催の
ご案内と講演募集**

梅雨も本格的になって参りましたが、会員の皆様にはますますご活躍のことと存じます。さて、本学会の第12回大会の開催が下記のように決まりましたので、御案内致します。

日時：平成13年9月29日(土)、30日(日)
29日(土)一般講演、特別セッション、
夕刻懇親会
30日(日)一般講演

会場：金沢学院大学
〒920-1392 石川県金沢市末町10
TEL:(076)229-8833/ FAX:(076)229-8791
次ページにある地図をご参照下さい。

<特別セッション>

現在企画中ですが、大会一日目の懇親会の前に、石川県埋蔵文化財センターで埋蔵資料データベースの概要と実際の運用についての説明とセンターの見学を合わせたセッションを検討しています。

今後、詳細については学会のホームページをご覧下さい。

<一般講演>

第12回大会での講演ご希望の方は、

- ・講演題目
- ・発表者
- ・所属
- ・連絡先

(住所・電話・ファックス・電子メール)

- ・発表に使用する機器等

を、電子メール、ファックス、郵送のいずれ



かでの以下の申し込み先までお申し込み下さい。

申込先：

〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7

統計数理研究所 村上研究室内

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax. : 03-5421-8766

E-mail : murakami@ism.ac.jp

申込〆切：平成13年8月10日(金)

なお講演に関する詳細に関しては、下記の「一般講演について」を参照して下さい。

<一般講演について>

1) 発表内容

遺物・遺構形状の計測技術、あるいはそれらのデータの計量分析、理化学的データの収集とその解析手法、考古学的事象をめぐるコンピュータ・シミュレーション、インターネットなど新たな通信基盤を介しての研究者間の

データ共有や共同研究をめぐる技術、多様な考古学的情報に関わる幅広い分野の学際的研究を募ります。

2) 発表時間

質疑応答を含んで、発表1件当たり30分を予定しています。(発表件数などによって変更することがありますのでご了承ください。)

3) 予稿提出

予稿原稿は6枚程度です。原稿作成の詳細につきましては申し込みがあり次第、事務局の方からご連絡致します。また、予稿原稿には600字程度の要旨をつけて下さい。この要旨は、学会誌である『情報考古学』に大会発表報告として掲載されますので、よろしく願いいたします。

予稿の〆切は、平成13年8月31日(金)に学会事務局に必着となっていますので、よろしく願います。

4) 予稿集の編集について

ご送付いただいた原稿を直接写真製版いたしますので、筆者による校正の機会はありません。完全原稿を御提出下さい。なお、提出された予稿の原稿は、原則として返却いたしません。予め各自でコピーを保存して下さい。

5) 発表資格

発表者に一人以上の会員が含まれることが応募の条件となります。

6) 発表機材

OHPプロジェクタと液晶プロジェクタが利用できる見込みです。その他の機材が必要な方は、事務局に御相談ください。

学会誌の発送と論文募集

本学会の研究論文誌「情報考古学」Vol.6, No. 2は、この3月に発行し、第11回大会にて配布いたしました。第11回大会に参加できなかった方には郵送いたしました。

また、「情報考古学」の次号Vol.7, No.1は、次回大会時に刊行・配布予定です。多くの会員の方からの投稿を期待しております。

〒101 - 8433

東京都千代田区一ツ橋2 - 2 - 1

共立女子短期大学生活科学科

植木武(会誌編集委員会副委員長)

Tel : 03-3237-2524

Fax : 03-3237-2692

第11回大会に参加できなかった方で、「情報考古学」Vol.6, No.2が、まだお手元に届いていない場合は事務局までご連絡ください。

日本情報考古学会第11回大会報告

日本情報考古学会 第11回大会が開催されました。

日時：平成13年3月17日・18日

会場：奈良市学園南3 - 1 - 3

帝塚山大学短期大学部

3月17日(土)

< 研究発表 >

トータルステーションと考古学専用ソフトウェアを用いた遺構実測支援システムについて

岩見 秀人(アイシン精機 株式会社)

着装コンピュータを用いた発掘支援システム

三宮 健(奈良先端科学技術大学院大学)

吉川正俊(奈良先端科学技術大学院大学)

植村俊亮(奈良先端科学技術大学院大学)

考古遺物の形状情報を用いた拓本の自動作成とその活用法

多井堅一郎(大阪大学大学院)

塚本敏夫(財元興寺文化財研究所)

佐藤宏介(大阪大学大学院)

考古遺跡写真ライブラリの構築

新 麗 (総務省通信総合研究所)

旧石器時代砂川期の石器群について 関東地方西南部の遺跡における石材組成から見た遺跡間接合の可能性

三瓶祐司((財)かながわ考古学財団)

< 学会賞授賞式 >

< シンポジウム > 石器捏造問題を語る

特別講演

『前期旧石器』問題の経過と現在

研究者たちはなぜ騙されたか

竹岡俊樹(共立女子大学)

日本の前期旧石器問題

小田静夫(東京都教育庁)

討論

司会 植木 武(共立女子短期大学)

< 総会 >

< 懇親会 >

3月18日(日)

< 研究発表 >

前方後円墳から考察する大和中央政権と東国地方政権との構造的関連(XI) - 全期古墳の考察 -

植木 武(共立女子短期大学)

大塚初重(明治大学)

梅沢重昭(群馬大学)

岸野洋久(東京大学)

村上征勝(統計数理研究所)

大和は古の伊都国也

石井 好(都立航空工業高等専門学校)

前方後円墳の築造規格の変遷

西村 淳(函館大学)

モンゴル瓦・レンガの蛍光X線分析

三辻 利一(奈良教育大学)

考古学者の認知技能に関する研究 アイカメラを用いた眼球運動測定から

時津裕子(九州大学大学院)

中園 聡(鹿児島国際大学)

< 特別講演 >

「デジタルアーカイブと情報考古学の接点」

佐藤宏介(大阪大学大学院助教授)

大会の様子は以下のホームページでもごらんになります。

<http://saikaku.ism.ac.jp/jsai/ptaikai.htm>

電子情報通信学会誌での 「情報考古学」の特集について

電子情報通信学会編集局から、本学会に、電子情報通信学会の学会誌(来年3月号)に情報考古学関係の特集を組みたいという申し出がありました。本学会としても歓迎すべきことであり、電子情報通信学会の要望を考慮し、この特集号の執筆を10名の会員にお願いすることになりました。

情報処理学会シンポジウムの 後援について

本学会は情報処理学会の「人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん2001)」の後援をすることになりました。本学会の会員は情報処理学会会員参加費(8000円)にてシンポジウムに参加できます。なお、シンポジウムの概要は次の通りです。

人文科学とコンピュータシンポジウム

(じんもんこん2001)

テーマ：デジタルアーカイブ「21世紀にあるべき情報資源の共有と活用とは」

会場：大阪市立大学 学術情報総合センター

(大阪市住吉区杉本3-3-138)

期日：2001年12月14日(金)～15日(土)

主催：(社)情報処理学会

人文科学とコンピュータ研究会

問合先：(社)情報処理学会シンポジウム係

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

E-mail:sig@ipsj.or.jp

参加費：後援団体会員 8,000円

(一般 10,000円 学生 3,000円)

主要プログラム：基調講演、招待講演、

パネル討論、企業展示、施設見学など

デジタルアーカイブ関連の諸トピック

画像・映像データベース、立体形状計測、歴史・文化・芸術資料のデジタル保存、色彩情報処理、記録保存の技術、メタデータ、デジタル文書標準化、情報検索技術、音楽データベース、デジタル図書館・博物館、知的財産権・著作権課題、セキュリティ・課金技術、教育利用、レファレンス、サービス、事例報告など

「会員近況」の掲載について

会報では、日本情報考古学会員相互の交流を図り、今後の活動をますます発展させていくことを目指して、会員の近況を紹介していくことにいたしました。

つきましては、会員の皆様には研究活動、顕彰、移動等の情報をお寄せ下さいますようお願い致します。

会報への広告掲載について

日本情報考古学会報に、今号は2社から広告をいただいで掲載しております。今後も継続的に広告を掲載し、会報の郵送費等に当てることができればと考えております。

会員の皆様もお心当たりがございましたら、ご紹介下さい。

日本情報考古学会会報 No.10

発行 日本情報考古学会

2001年7月1日

〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7

統計数理研究所 村上研究室内

日本情報考古学会事務局

Tel./Fax.: 03-5421-8766

E-mail: murakami@ism.ac.jp

